



平成24年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月11日

上場会社名 株式会社松家ホールディングス 上場取引所 名
 コード番号 1413 URL <http://www.hinokiya-holdings.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 昭
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画担当 (氏名) 水島 孝生 (TEL) 0480-26-1118
 四半期報告書提出予定日 平成24年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第1四半期の連結業績 (平成24年1月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第1四半期	9,542	27.4	274	△46.9	340	△38.1	181	△31.6
23年12月期第1四半期	7,489	68.4	517	—	549	—	265	—

(注) 包括利益 24年12月期第1四半期 207百万円(△29.1%) 23年12月期第1四半期 292百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第1四半期	13.38	—
23年12月期第1四半期	19.56	—

平成23年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき300株の割合で株式を分割しております。そのため、平成23年12月期第1四半期に係る1株当たり四半期純利益は、当該分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定し、算出しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第1四半期	23,759	6,198	25.7
23年12月期	24,514	6,344	25.5

(参考) 自己資本 24年12月期第1四半期 6,104百万円 23年12月期 6,255百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	2,000.00	—	26.00	2,026.00
24年12月期	—	—	—	—	—
24年12月期(予想)	—	10.00	—	26.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成23年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき300株の割合で株式を分割しております。そのため、平成23年12月期第2四半期末の配当金額については、当該株式分割の影響を考慮していない金額を記載しており、平成23年12月期の合計の配当金額は1株当たりの配当金額の単純合計金額を記載しております。

3. 平成24年12月期の連結業績予想 (平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,500	27.9	660	△42.7	760	△38.5	340	△48.2	25.04
通期	50,000	27.7	4,500	15.2	4,600	12.4	2,500	16.0	184.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

24年12月期1Q	13,575,000株	23年12月期	13,575,000株
24年12月期1Q	148株	23年12月期	75株
24年12月期1Q	13,574,924株	23年12月期1Q	13,575,000株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 当社は、平成23年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき300株の割合で株式を分割しております。そのため、上記「発行済株式数 (普通株式)」につきましては、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定し、算出しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、急激な円高の一服や株価の上昇を受け緩やかな回復基調で推移しました。一方では原油価格の高騰、欧州政府債務問題の影響による世界景気の下振れ懸念など依然として先行き不透明な状況にあります。

住宅業界におきましては、当社グループの注文住宅事業に関連の深い持家の新設住宅着工戸数は昨年9月のフラット35Sの金利優遇等の政策支援縮小により調整局面にありましたが、支援策の一部が復活し、前年同月比で6ヶ月ぶりに増加に転じており持ち直しの動きが見られました。

このような状況のもとで、当社グループ経営理念「最高品質と最低価格で社会に貢献」に基づき各事業セグメントにおいて、お客様の嗜好にあった新商品開発、展示場作り、住宅関連サービスに関する問題解決のための提案等に積極的に取り組み売上拡大に努めました。

この結果、第1四半期連結累計期間における売上高は95億42百万円（前年同四半期比27.4%増）、営業利益は2億74百万円（同46.9%減）、経常利益は3億40百万円（同38.1%減）、四半期純利益は1億81百万円（同31.6%減）となりました。

セグメントごとの業績（セグメント間の取引消去前）は次のとおりであります。

①注文住宅事業

注文住宅事業におきましては、当社グループの主力事業である注文住宅分野の全国ベースの持家住宅着工数は66千戸（前年同期比1.2%減）となりました。このような状況のもとで、当第1四半期連結累計期間において完成引き渡しが順調に推移したことに加え、昨年12月に当社の連結子会社となった株式会社松家住宅三栄が売上増加に貢献しました。また、受注拡大に向けて年初にテレビCMを実施し、1月に太陽光発電システムと電力モニタ「HEMS」を標準搭載した新商品「スマート・ワンVシリーズ」を発売、さらに、3月から春の快適エコ住宅応援キャンペーン等を実施しました。

この結果、受注棟数546棟（同19.5%増）、受注高101億1百万円（同28.0%増）、売上棟数309棟（同28.2%増）、売上高は64億円（同34.0%増）、セグメント利益（営業利益）は82百万円（同76.8%減）となりました。

②不動産事業

不動産事業におきましては、埼玉エリアでサイプレスガーデンシリーズの販売が順調に推移し、さらに、昨年11月に当社の連結子会社となった株式会社松家不動産千葉が売上増加に貢献したものの、東京エリアでメイプルガーデンシリーズの販売が減少しました。

この結果、売上棟数35棟（同105.9%増）、売上高は13億67百万円（同20.5%増）、セグメント損失（営業損失）は62百万円（前年同期は営業利益81百万円）となりました。

③断熱材事業

断熱材事業におきましては、原発事故による電力供給不足等から消費者の省エネ、エコに対する意識の高まりを受け、将来の需要増に対応するため積極的に営業エリアの拡大に取り組みしました。

また、原材料コストの削減等に取り組んだものの、営業所の開設費用等が増加したことや前年同期にガラスウール不足による特需があったことも一部影響しました。

この結果、売上高は11億65百万円（同5.1%減）、セグメント利益（営業利益）は55百万円（同67.0%減）となりました。

④不動産賃貸事業

不動産賃貸事業におきましては、当社が所有するテナントビル「クッキープラザ」の収益力向上に向けたテナントの誘致に取り組みしました。

この結果、売上高は96百万円（同55.7%増）、セグメント利益（営業利益）は12百万円（前年同期は営業損失4百万円）となりました。

⑤その他

その他におきましては、賃貸住宅事業、リフォーム・外構事業等の売上が順調に推移しました。

この結果、売上高は15億15百万円（同148.5%増）、セグメント利益（営業利益）は8億52百万円（同522.8%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は237億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億55百万円の減少となりました。

流動資産は143億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億52百万円の減少となりました。この減少の主な要因は、現金預金の10億24百万円の減少、受取手形及び売掛金の1億36百万円の減少と、一方で不動産事業の販売用不動産の6億53百万円の増加、仕掛工事件数増による未成工事支出金の1億7百万円の増加等によるものであります。

固定資産は94億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億3百万円の減少となりました。この減少の主な要因は、土地の売却等による有形固定資産の2億34百万円減少等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は175億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億10百万円の減少となりました。

流動負債は161億91百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億88百万円の減少となりました。この減少の主な要因は、工事未払金の10億68百万円の減少、買掛金の1億47百万円の減少、1年内返済予定の長期借入金の3億80百万円の減少、未払法人税等の11億94百万円の減少と、一方で短期借入金の18億50百万円の増加、受注契約件数増及び仕掛工事件数増による未成工事受入金の7億48百万円の増加等によるものであります。

固定負債は13億68百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億22百万円の減少となりました。この減少の主な要因は、長期借入金の3億14百万円の減少等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は61億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億45百万円の減少となりました。

この減少の主な要因は、当四半期純利益の1億81百万円と配当金3億52百万円とによる利益剰余金の1億71百万円の減少等によるものであります。

(自己資本比率)

当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は25.7%（前連結会計年度比0.2ポイント増）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年12月期の連結業績予想につきましては、現時点で平成24年2月10日に公表した計画から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	5,555,241	4,530,787
受取手形及び売掛金	812,528	675,959
完成工事未収入金	270,768	274,712
営業未収入金	2,187	3,893
販売用不動産	5,112,971	5,766,657
未成工事支出金	2,086,701	2,194,525
材料貯蔵品	122,821	115,530
その他	906,668	758,900
貸倒引当金	△7,660	△11,360
流動資産合計	14,862,228	14,309,607
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	3,960,651	3,975,545
土地	3,800,800	3,572,721
その他(純額)	490,785	469,899
有形固定資産合計	8,252,237	8,018,166
無形固定資産		
のれん	580,641	539,717
その他	76,698	132,441
無形固定資産合計	657,340	672,158
投資その他の資産		
その他	781,722	797,762
貸倒引当金	△38,684	△38,504
投資その他の資産合計	743,038	759,258
固定資産合計	9,652,615	9,449,583
資産合計	24,514,844	23,759,191

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
負債の部		
流動負債		
工事未払金	5,058,944	3,990,029
買掛金	823,472	676,103
短期借入金	1,900,000	3,750,000
1年内返済予定の長期借入金	1,873,080	1,492,240
1年内償還予定の社債	126,800	10,000
未払法人税等	1,397,137	202,601
未成工事受入金	3,628,571	4,377,360
賞与引当金	76,656	195,507
その他	1,595,315	1,498,067
流動負債合計	16,479,977	16,191,909
固定負債		
長期借入金	1,302,220	987,493
その他	388,531	381,183
固定負債合計	1,690,751	1,368,676
負債合計	18,170,728	17,560,586
純資産の部		
株主資本		
資本金	389,900	389,900
資本剰余金	339,900	339,900
利益剰余金	5,522,183	5,350,906
自己株式	△55	△117
株主資本合計	6,251,928	6,080,589
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,442	24,267
その他の包括利益累計額合計	3,442	24,267
少数株主持分	88,744	93,747
純資産合計	6,344,115	6,198,604
負債純資産合計	24,514,844	23,759,191

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)
売上高	7,489,036	9,542,418
売上原価	5,348,669	6,898,265
売上総利益	2,140,366	2,644,152
販売費及び一般管理費	1,623,336	2,369,701
営業利益	517,029	274,451
営業外収益		
受取利息	42	200
紹介手数料収入	10,724	12,893
保険事務手数料	13,628	29,606
その他	15,560	37,972
営業外収益合計	39,955	80,673
営業外費用		
支払利息	6,242	10,433
その他	1,351	4,624
営業外費用合計	7,593	15,058
経常利益	549,391	340,066
特別利益		
固定資産売却益	—	142,920
貸倒引当金戻入額	2,333	—
特別利益合計	2,333	142,920
特別損失		
固定資産除売却損	864	3,291
減損損失	113	124,635
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	68,377	—
その他	235	28,596
特別損失合計	69,591	156,523
税金等調整前四半期純利益	482,133	326,463
法人税、住民税及び事業税	217,241	199,260
法人税等調整額	△13,262	△59,471
法人税等合計	203,979	139,788
少数株主損益調整前四半期純利益	278,154	186,674
少数株主利益	12,615	5,002
四半期純利益	265,538	181,671

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	278,154	186,674
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,583	20,824
その他の包括利益合計	14,583	20,824
四半期包括利益	292,737	207,499
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	280,121	202,496
少数株主に係る四半期包括利益	12,615	5,002

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	注文住宅 事業	不動産 事業	断熱材 事業	不動産 賃貸事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	4,731,180	1,135,208	1,114,821	52,895	7,034,106	454,929	—	7,489,036
セグメント間の内部売上 高又は振替高	45,731	—	112,549	9,357	167,637	154,818	△322,455	—
計	4,776,911	1,135,208	1,227,370	62,252	7,201,743	609,748	△322,455	7,489,036
セグメント利益又は損失 (△)	354,922	81,592	168,165	△4,645	600,034	136,879	△219,884	517,029

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント及びその他の収益を稼得する事業活動であり、賃貸住宅事業、リフォーム事業及びFC事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△219,884千円には、セグメント間取引消去△73,810千円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△146,073千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	注文住宅 事業	不動産 事業	断熱材 事業	不動産 賃貸事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	6,369,794	1,367,471	1,035,384	75,839	8,848,489	693,928	—	9,542,418
セグメント間の内部売上 高又は振替高	30,761	—	129,839	21,108	181,709	821,228	△1,002,938	—
計	6,400,556	1,367,471	1,165,223	96,947	9,030,199	1,515,157	△1,002,938	9,542,418
セグメント利益又は損失 (△)	82,485	△62,862	55,469	12,344	87,436	852,418	△665,403	274,451

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント及びその他の収益を稼得する事業活動であり、賃貸住宅事業、リフォーム事業及びFC事業及び持株会社の取引を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△665,403千円には、セグメント間取引消去△524,257千円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△141,146千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度に持株会社へ移行したことに伴い、前第1四半期連結累計期間において注文住宅事業のセグメント間の内部売上高として計上されていたロイヤリティ売上を前第3四半期連結累計期間より期首に遡り、その他のセグメント間の内部売上高として計上しております。

このため、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、上記の変更を反映したセグメント情報を開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

全社資産である売却予定の土地等について、当第1四半期連結累計期間において、減損損失119,195千円を計上しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。